

令和5年度 特色ある区づくり事業一覧

予算額:29,000千円(区役所企画事業24,000千円、自治協提案事業5,000千円)

(単位:千円)

事業名	R5予算	事業目的	R5年度(当初)事業内容	R5年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など R6年度の方向性	課名
◎特色ある区づくり事業						
I 自然環境と都市機能を活かした快適に暮らせるまち 4,360						
1 みんなで語り、考える使いやすい公共交通	700	区バス・住民バスの利用を促進するため、啓発活動を実施するとともに、地域の実情に応じた移動手段の確保への支援を行うなど、区民がより使いやすい公共交通の実現につなげる。	○小学生の利用促進のため、区内小学校でバス乗車体験学習会を実施する。高齢者の利用促進のため、シニア半割やシルバーチケットの作成支援などを実施 ○交通空白地域(大江山・両川)において、地域や福祉法人と連携し、高齢者の移送支援を実施	○区バス沿線小学校5校にて体験学習会を実施 ○シルバーチケットの作成支援を横バス沿線で実施予定 ○大江山地区でコミ協や福祉法人と連携した高齢者の移送支援を実施 ○両川地区では福祉分野と連携した買い物支援(移動スーパー)などの実施を検討	【これまでの成果・課題など】 区バス、住民バスの利用者数はコロナ禍前の9割程度まで回復。住民バスは運行経費の8割を限度に市が補助しているが、運賃収入が2割を割り込んでいる路線がある。 【R6年度の方向性】 引き続き区バス、住民バスなどの利用促進に取り組むほか、地域団体や福祉部門などと地域の実態に合った移送について引き続き検討・実施する。 また、特に収支率の低迷している住民バスについて運行団体と連携しながら、沿線住民に対し、利用状況などの共有や利用促進に重点的に取り組む。	地域総務課
2 こあがの川フィッシング大会	200	小阿賀野川などの水辺空間を活用し、新たな魅力の創出と交流人口の増加につなげる。	○開催予定 令和5年9月第2日曜(地元コミ協主催のカヌー体験会と同日開催を想定) ○大会内容 インストラクターが釣り方やマナーの指導を行うなど、フィッシングを通じて水辺空間の楽しみ方を学ぶ。 ○参加者数 親子10組程度(カヌー体験会と同規模を想定)	○開催日:令和5年9月10日(日) (両川コミ協主催のカヌー体験会と同日開催) 会場 小阿賀野川河川公園 酒屋広場 (磐越自動車道 小阿賀野川橋 付近) ○事業内容:インストラクターが釣り方やマナーの指導を行うなど、フィッシングを通じて水辺空間の楽しみ方を学ぶ。 ○参加者:親子10組 (募集期間:令和5年8月6日~8月31日)	【これまでの成果・課題など】 R2.3年度は新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて大会中止とした。 R4年度から実施しており、参加者からのアンケートも良好な回答結果を得ている。 【R6年度の方向性】 R4、5年度に行った事業内容(時期・参加人数等)を参考に、R6年度以降も同様の開催予定としている。	建設課
3 いい汗 いい食 江南健幸ライド	3,460	小阿賀野川など水と緑のネットワークを形成する資源を活用し、整備したサイクリングロードの利用促進に取り組むため、区の名所を自転車で周遊し、協賛企業が提供する地元食などが楽しめるサイクリングイベントを開催することで、健康づくりの推進や交流人口の拡大を図る。	○開催予定 令和5年9月第2日曜 ○大会内容 募集定員200名 (ロングコース[40km]160名、ショートコース[15km]40名) ○自転車走行空間の改善 路面標示の整備、路肩改良、案内板設置	R5年度実施(予定)状況 ○いい汗いい食江南健幸ライドの開催 ・開催予定日:9月10日(日) ・内容:ロングコース(約42km) ショートコース(約16km) ・募集者数:ロング160名、ショート40名 ※7月28日から募集(江南区民は一般に先駆けて7月24日から募集開始) ○自転車走行空間の改善 路面標示の整備、路肩除草・改良	【これまでの成果・課題など】 江南区民が参加しやすいよう先行募集枠を設け、区だよりやラジオ等による広報活動を行い、準備を進めている。 【R6年度の方向性】 引き続き、健康増進や交流人口の拡大、江南区の魅力発信を目指し開催していきたい。 参加者アンケートを行い、事業内容・規模に反映させていく。	建設課
II 人と人のつながりを大切に作る安心安全なまち 2,990						
4 江南区ふれあい・ささえあいプランの推進 ・ふれあい・ささえあい交流事業 ・「子どもたちの居場所」活性化の推進	2,990	福祉施設や特別支援学校等が集まる地域特性を活かし、区民や各種団体と協働することで、区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指す。	(ふれあいささえあい交流事業) ○「こうなんふれ愛まつり」の開催及び、共生のまちづくりを推進するため、障がい者アート展を開催 ○江南区福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化に向け、子どもたちが企画・運営するイベントを開催	(ふれあいささえあい交流事業) ○「こうなんふれ愛まつり」を10月15日(日)に開催予定(会場は、新潟ふれ愛プラザと亀田駅前地域交流センター) ○障がい者アート展も同時開催予定(会場は、亀田駅東西自由通路) ○障害者週間(12/3~9)に合わせて、巡回アート展を実施予定(12/1~14 横越出張所、12/16~27 曾野木コミュニティセンター) (子どもたちの居場所) ○江南区福祉センターでのイベントにおいて、子どもたちが企画・運営に携わるイベントを開催する(きらとびあ夏まつりなど) ○子どもたちが企画・運営するクラブ活動等をサポートする人を募集し、活性化を図る(フェスサポ)	【これまでの成果・課題など】 (ふれあいささえあい交流事業) ○「こうなんふれ愛まつり」及び障がい者アート展は、区内外から多くの方が訪れ、評価も高い(子どもたちの居場所) ○新型コロナワクチン接種会場であったため、子どもたちの利用が減少していたが、徐々に戻りつつある 【R6年度の方向性】 (ふれあいささえあい交流事業) ○引き続き、江南区の地域特性を活かし、事業を継続していく(子どもたちの居場所) ○子どもたちの居場所(フェス)の利用者ならびにフェスサポの登録者を増やし、イベントやクラブ活動などの活性化を図る	健康福祉課

事業名	R5予算	事業目的	R5年度(当初)事業内容	R5年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など R6年度の方向性	課名
Ⅲ 産業と地域の魅力が輝くまち						
5 江南区まるごとプロモーション	11,700	江南区の魅力である農産物や観光資源などを、一体的にプロモーションすることで、より効果的に実施するとともに、その推進体制の充実に向けて農商工連携や官民連携を加速させる取組みを進める。	○梅まつり ○いきいきフェスタ ○まち歩き、バスツアー ○官民連携事業(よんでるナイト、スイーツコーン収穫体験などのイベント企画、えんでは新商品開発などを想定) ○若手経済人や農業者などとの懇話会の開催	○梅まつり(令和6年3月実施予定) ○いきいきフェスタ ○まち歩き(9/24)、バスツアー(3月実施予定) ○官民連携事業(協議中) ○若手経済人や農業者などとの懇話会の開催	【これまでの成果・課題など・R6年度の方向性】 ○梅まつりは梅見組合やJA等との協働で実施。 ○いきいきフェスタは、コロナ禍前と同様の取組みが困難な状況から、関係者と協議し、これからのあり方の検討と準備が必要。 ○まち歩き、バスツアーは、市民団体との協働で実施。(今日は一日袋津三昧実行委員会) ○官民連携事業は、2団体と実施に向けて協議中(農産物の販売促進と、農産加工品の開発) ○若手経済人や農業者などとの懇話会は9月以降随時開催予定。	産業振興課
6 地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくり	3,000	地域ブランド亀田縞を活かし、引き続き地域のアイデンティティの醸成や利用の拡大を進めるとともに、地域産業の振興や地域づくりに向けた取組みの深化を目指す。	○亀田縞の認知度向上に向けた取組み ・区内外における亀田縞タペストリー設置 ・情報誌の発行(年4回) ○地域産業や地域団体との連携 ・自治協、コミ協との連携 ・異業種との連携による利用の拡大 ○亀田縞を題材とした小中学校の総合学習への支援	○亀田縞の認知度向上に向けた取組み ・亀田縞タペストリー設置(予定2か所) ・情報誌の発行(年4回) ○亀田縞を活かした空間づくりへの支援 ・亀田縞を活用した空間づくりなどを行う事業者を募集、3事業者を選定し取組みを支援 ○その他 ・新潟大学創生学部フィールドスタディーズの実施(若年層向けのアイデア提案)	【これまでの成果・課題など】 これまで産地としての景観づくりや、新たな活用提案募集などの取組みもあり、G7財務大臣・中央銀行総裁会議ふるさと納税返礼品の登録増加、全国規模の会合で記念品に採用されるなど、知名度だけでなく徐々に認知度も向上している。 【R6年度の方向性】 店舗等の空間づくりに利用する支援や、様々なコンベンションでのコラボをはじめ、亀田縞の更なる認知度や利用の拡大を進めるとともに、亀田縞を核とした産業の振興や地域づくりを目指す。	産業振興課
7 地域商業活性化支援	2,500	商業関係者らによる江南区魅力“彩”発見実行委員会に参画し、区内全体の商業の活性化につながる取組みを行う。	○既存イベント等を活用した個店魅力の情報発信 ○区全体の商業活性化につながる事業の検討と実施	○亀田サンキューマルシェを11月3日に実施し、イベントの賑わいだけでなく、通常のお買い物場としての魅力の発信も行う。 ○今年度も区内の商店会や割烹店らによる組織と連携し、区内の商業者による「お店元気プラスキャンペーン」を9月1日から11月30日の3か月間実施。	【これまでの成果・課題など】 商工団体らによる実行委員会とともに消費喚起の取組みを実施。「お店元気プラスキャンペーン」では、参加店が昨年比11店舗増加し122店の参加となった。サンキューマルシェも認知され、毎年多くの出店と参加者が見込まれるイベントとなってきた。 【R6年度の方向性】 今後も、引き続き地域商業活性化に向けて企業、団体等との連携も視野に取り組みを進めるスキームを検討したい。	産業振興課
8 「江南区をPR」魅力発信プロジェクト	1,200	地方への回帰傾向が高まる中、首都圏の学生や子育て世代などに向けて、江南区の住みやすさや魅力を発信することで、区への移住促進を図る。	○江南区出身の県外学生を応援するとともに、Uターン就職の促進を目的に「ふるさと江南区宅配便」を実施 ○学生同士の交流機会の創出と区の魅力の再発見を目的に県外在住の学生同士の「交流イベント」を首都圏で開催	○「ふるさと江南区宅配便」は、10社の企業・団体から物資提供の協賛を得ることができた。県外在住の江南区出身学生100名に向け、10月下旬に送付する予定。 ○「交流イベント」は、ふるさと江南区宅配便の送付者を中心に参加者を募集し、11月下旬頃を実施する予定。	【これまでの成果・課題など】 宅配便を受けとった学生から「地元の魅力に気付いた」「地元で就職したい」など事業目的に合致した回答が多数あり、一定の成果が見られた。宅配便をきっかけにUターンを促進する効果的な取組みに繋げていく必要がある。 【R6年度の方向性】 引き続き区の魅力発信や関係交流人口の拡大、学生のUターン促進につながる取組を実行委員会で検討し、実施していく。	地域総務課
Ⅳ 人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち						
9 文化芸術の創造・発信	4,950	区の文化芸術の発信拠点である江南区文化会館において、質の高い文化芸術公演を区民に提供し、文化の創造と振興を図る。	○講演会のほか、著名なアーティストなどによるコンサートや演劇、落語等幅広いジャンルを選択肢としたイベントを実施し、区民に多様な文化芸術に触れる機会を提供	【実施予定公演】(2公演) ①「浪曲師 玉川大福独演会」 日時:令和5年12月3日(日) 開演13:30~15:30 入場料:1,500円 ②「奥村愛 はじめてのクラシック演奏会」 日時:令和6年3月2日(土) 開場13:30~15:30 入場料:大人1,500円 子供無料	【これまでの成果・課題など】 区民の芸術文化に関する興味関心が高まり、施設の認知向上、利用促進に繋がっている。 【R6年度の方向性】 新潟市にゆかりのあるアーティストによる講演や音楽会など魅力ある芸術文化公演を実施する。	産業振興課

事業名	R5予算	事業目的	R5年度(当初)事業内容	R5年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など R6年度の方向性	課名
10 北方文化博物館を活用した文化発信事業	1,700	国登録有形文化財である県下最大級の豪農の館「北方文化博物館」を舞台に、地域が誇る伝統・文化に触れる機会を提供することで、区に対する愛着の向上を図る。	○北方文化博物館を発信拠点とした、区ゆかりの文化イベント等の実施 ○江南区民を対象とした同博物館への無料入館を実施	令和5年10月下旬から11月上旬にかけて、北方文化博物館において各種イベントを企画し、期間中、江南区民を対象とした無料入館を実施。	【これまでの成果・課題など・R6年度の方向性】 令和4年度区民無料入館期間のアンケート結果では、「初めての来館」と回答した入館者は回答者全体の20%を占め、地域の伝統・文化に触れる機会の提供という点で、一定の効果があった。 事業継続する場合は、単なる「無料入館期間」とならないよう、イベント実施内容の検証によるブラッシュアップと充実度の向上が課題となる。	産業振興課
V 区民が主役となる協働のまち		5,000				
11 区自治協議会提案事業	5,000	江南区が目指す「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」、「みんなで支え合い、安心して暮らせるまち」の実現に向けて、区役所と協働・連携しながら、地域が抱える課題の解決と地域活性化に必要となる取組みを推進する。	○江南区魅力発掘・発信プロジェクト ○多世代交流“みらい”プロジェクト ○誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト ○地域課題解決サポートプロジェクト	○各部会において詳細な事業内容の検討、取組を推進。 ○地域課題解決サポートプロジェクト：地域コミュニティ協議会より提案受付中。	【これまでの成果・課題など】 地域課題解決サポートプロジェクトの昨年度は2団体のみの活用に留まった。 【R6年度の方向性】 地域課題解決サポートプロジェクトについては、地域コミュニティ協議会へアンケートを実施し、必要性や改善などについて総務特別部会で来年度以降の方向性について検討する予定。	地域総務課

29,000